

平成 24 年 2 月 14 日 00053 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター 【事務局情報】北見市武道振興協議会 役員会の開催

2月7日(火) ちゃんこ友綱で北見市武道振興協議会(武藤弘司会長)役員会がありました。議題は平成24年度評議員会議題素案の検討やNPO法人北見市武道振興協会の報告、第16回北見市総合武道祭会計報告に、10月第3土曜日に開催予定の第17回北見市総合武道祭等について話し合いました。また、2/3日の総務教育常任委員会で社会教育施設整備推進室より報告がなされた武道館の基本設計案概要の図面や延べ床面積3,310平方メートルの各道場見取り図などの検討も行われました。



【弓道】平成24年度北部地区評議員会開催

2月5日、旭川市勤労者福祉会館において北海道弓道連盟北部地区の評議員会が開催されました。北見市弓道会からは坂井会長をはじめ、他2名が出席しました。北海道弓道連盟は六地区で構成されており、ここ北部地区は北見地区弓道連盟と旭川地区弓道連盟で成り立ち、北は稚内市から東は斜里町までの広範囲の地区ながら、一般・高校共に大変弓道の盛んな地区でもあります。今評議員会には四十数名の役員と評議員が出席し、前年度と今年度における議案の審議と表彰規定に基づいた被表彰者が決定し、北見市弓道会からは優秀選手賞に川戸裕児さんと鈴木利美さんが選ばれました。(今野)



【緊急課題情報】柔道事故 武道必修化に警鐘 2/6 NHK クローズアップ現代で「‘必修化’は大丈夫か~多発する柔道事故~」がTV放送されました。4月から文部科学省は「全国中学校の武道必修化」を予定通り実施すること。一方では、体育教育現場での事故防止策の確立が強く求められています。武道必修化の実施に対し「中学校での柔道事故を防ぐ安全確保対策が不十分」と、全国柔道事故被害者の会(小林泰彦会長)が2月7日、平野博文文部科学大臣と興石東幹事長に、事故防止策の確立を求める要望書を提出しています。(財)全日本柔道連盟は武道必修に関し、警察庁に呼びかけ、全国の警察OBが外部指導者として協力してくれることに期待をかけています。しかし、実際には指導者不足は明白であり、困難が予想され、柔道経験の少ない体育教師への十分な柔道実技講習会の実施が必須となっています。北見市では、昨年より教育委員会と柔道協会が連携して安全指導講習会や外部指導者の派遣を行ってきました。北見市教育委員会学校教育指導室の工藤仁志室長は「平成24年度も安全指導の講習会を続けて行きたい」と安全対策に取り組む考えを示しており、北見市柔道協会の佐藤寿春会長も「安全指導の実技講習会に積極的に協力します」と応えています。(山本)



※【加速損傷による急性硬膜下血腫】

